

みちこだよい

2003年 4月 No. 12
日本共産党笠岡市議団発行
〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
Tel63-6001 Fax62-5753
自宅住所〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738 携帯090-2862-4775



(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)

3月議会のご報告をお届けします

今市町村合併問題が再び大きく取り沙汰されています。笠岡市は1月22日の中央公民館をかわ切りに、市内18カ所で合併を考える懇談会を開催しました。私も時間の許す限り参加させて戴きました。合計10カ所参加したことになります。「10万都市を目指せ」「何で合併せにゃーいけんの?」「周辺部にめくばりしてもらえるん?」「相手があることじゃから、はちんくだったんなら県が示したとおり、単独で行けばいいが。」等等、期待・疑問・不安が語られました。

政府の推し進める市町村合併は大型公共事業に50兆円、国民生活に20兆円という、逆立ちした政治の結果生じた約700兆円の借金を国民生活犠牲で、解消しようとするものです。2月25日に全国の町村長、町村議会議長6000名の参加のもとに日本武道館で開かれた、町村自治確立総決起大会でも、強制合併反対の決議がなされています。

田中長野県知事は「人の顔が見え、集落の絆があり、地域の人達に運営されるのがこれからの行政だ。合併は最後のばらまき行政、市民の幸せをもたらす訳ではない。プラス面、マイナス面を住民に示したうえでの議論が必要だ。」と述べています。

又鳥取県の片山県知事は「巨額の債務、借金に恐れおののいて、夜逃げをするような合併が見受けられるが、そのようなことは避けた方が良い。特例債によるハード事業に期待をするなら、認識がずれている。合併しても、すみずみまで行き届いた行政サービスが確保できるのか真剣に検討しているのか」と述べています。

私は、今ほど地方自治本来の存在意義が問われているときはないと感じています。笠岡市が地方自治法に沿って、住民の福祉向上に目を向けた施策をおこなうよう願って、3つの質問をし、答弁を戴きました。

島の中学校統廃合問題

私は1月28日、30日、2月12日、19日、3月2日の5日にわたって、4島を訪問しました。

これまで、島の活性化に不可欠なものとして、島の振興、島の産業の振興などで島の人達が活力を戻すことと、学校の振興、地域の学校として各島に小中学校を残すこと、この2つが車の両輪であるということを基本に質問してきました。



海援隊、島の運動会、島起こし海社、飛島・真鍋島等での特産物の開発、陸からの留学生制度など、島の活力をとりもどす施策が取り組まれ、徐々に成果を挙げている。今、島に中学校を残すべきと質問しました。具体的には、飛島の中学校を廃校でなく、休校にして、いつでも開校できるようにという、島の人達の切なる願いに応えること。又、今後の島の中学校問題においては、島の振興と島の学校の振興を関わらせ、役員や保護者だけではなく島の人達全員の声を聞くことを求めました。

保育所の公設民営化について

1月29日公立保育所の民営化に向けての報道がありました。行政改革の一環としての公立保育所の公設民営化です。

しかし、本来行政改革とはむだを省くことで、これは誰もが認めることです。市はこれまで、保母さんたちと、働く保育士の労働条件の改善など笠岡市の保育行政の発展を目指した約束を重ねてきました。約束した責任を放棄するほど、公立保育所を残すことは、むだな事なのかとたずねました。

又、公立保育所の先生方や保護者の皆さん、又公設民営化を考える会の皆さんが、公設民営化に反対し、私立に対する補助金の増額を求めて、3月6日、11376名の署名を市に提出しています。そうした市民の声に答えるためにも、保育条件の整った公立を残すと同時に、私立への助成を増額することで、公立私立を問わず、すべての園児が平等に豊かな保育を受けられるよう、笠岡市の保育行政の充実発展をと質問しました。

さらに、市長が答申にもあるように、保護者や地域住民の意見を十分に聞き、子供の立場に立った笠岡市の保育行政がどうあるべきかを基本に、民営化するかしらないか

これに対して教育長は、飛島中学校は廃校にする、今後の島の中学校問題においては島の人達の声を充分聞くと答弁しました。島の皆さんが、島の活性化のためにさまざまな取り組みをされると同時に、島の教育の発展に向けて島の声を上上げて戴くよう願っています。私は今後とも皆さんと共に島に中学校が残るよう頑張ります。



大本助役(右端)に署名簿を手渡す「考える会」の保護者や保育士ら



3/7 (中国新聞) 保育所民営化反対 11376人署名提出

を含め、検討すべきとたずねました。

これに対して市長は、16年4月実施まで時間はある、それまで保護者との話し合いで理解を得たいと答弁しました。

私は、市長が保育所の公設民営化を強行するのではなく、関係者の声を十分聞くよう求めて今後も奮闘したいと思っています。

父子家庭に児童扶養手当を

滋賀県の大津市は、母子家庭を対象とした児童扶養手当を、不況での倒産リストラ等で、家計が急変した父子家庭にも支給することを明らかにしました。全国では栃木県鹿沼市、茨城県うしく市に続き3番め。

他市の先進例に習い、笠岡市も独自で同様の施策が講じられないかたずねました。

これに対し市長は、その必要性を感じる、法的整備があるので関係機関に働きかけるとの答弁がありました。

私は市長が、命や暮らしの問題を何よりも優先させ、福祉充実の施策を講じるよう求め今後とも奮闘して行きたいと思っています。

総務文教委員会

2/17 教育委員会は飛島中学校を閉校にすると説明。地元の人たちの声として、「閉校ではなく、休校にしてほしい」と言う願いがあると発言しましたが、「そのような声は聞いていない」と言う教育長の答弁でした。住民の声と掛け離れた委員会の姿勢が問題だと感じました。

3/12 治安維持法犠牲者への国家賠償法制定に関する請願、公正公平な公務員制度の確立を求める請願を審議し、採択すべきと主張しましたが、継続審議となりました。イラク情勢の平和的解決を求める請願については字句の不備を理由に採択されず継続審議となりました。政府に「平和の意見書」の提出を求める請願については採択

されました。

3/14 教育委員会より笠岡東中学校、新山中学校の2学期制試行という説明に対し、①教職員の論議や父母、生徒への説明が不十分。②予想されるマイナス面をどう克服するのか等の問題点をたずねました。

これに対し、①については今後さらに徹底していく。②については実施しながら論議を重ねて対応する。との答弁でした。

見切り発車で生徒・父母に混乱が生じなければいいかと不安を感じました。

又平成15年度一般会計も審議しました私は人権政策費の中に同和団体への補助金を含む入学金等補助金が4686万円も計上されているのは問題があるので、この予算案に反対しました。

合併調査特別委員会 2/27 環境福祉委員会 3/13

市内18カ所で開かれた「市町村合併を考える懇談会」の内容が市より報告され、委員会中間報告に向けて論議しました。

私の参加した10カ所の懇談会では、「大きいことはいいことだ」に代表される、期待感に満ちた賛成意見が多かった反面、自治体本来の目的である住民の福祉充実を目指した笠岡市の将来をどう作るのか、の根本論議に関わる疑問や不安が出されていました。これに対し市長の答弁は「負担は小さく、サービスは大きく」というのみ。

こうした実態と、そもそも借金財政を作ったことへの反省とそれに基づく展望が示されていないことや、プラス面、マイナス面が充分市民に提供されていないことなど、多くの問題が残っていることから、「積極的推進」の結論を出すべきでない意見を述べました。3月5日本議会での中間報告「市長に推進要望」は全員一致でなされた訳ではありません。

健康保険3割負担の凍結を求めるよう、国に対して意見書を上げてほしいという請願の紹介をさせていただきました。負担増は受診抑制と、健康悪化につながることをデータで示し、国民の7割が反対していることから、採択をと訴えましたが、委員会論議の結果は不採択でした。



3/5 イラク攻撃反対、3/20 イラク戦争中止を訴えて市民の皆さんとともにデモ行進。

3/6 「公立保育所のあり方を考える会」と「公設民営化を考える会」の皆さんと共に、公設民営化反対、私立への助成増額の署名を市へ提出(11376名分)

懇「合併を考える懇談会」に出席

- | | |
|-------------|-------------|
| 1/22 中央公民館 | 1/28 真鍋島公民館 |
| 2/3 陶山公民館 | 2/4 笠岡東公民館 |
| 2/9 金浦公民館 | 2/11 大井公民館 |
| 2/12 北木島公民館 | 2/18 高島公民館 |
| 2/22 今井公民館 | 3/2 飛島公民館 |



懇談会での発言から

「10万都市をめざせ」「1市3町で、2市7町で」「福山がいい」などの声上がる一方で、「昭和の対等合併でも今、周辺部は薄い。二の舞になる検証すべき」「金の話でなく、合併して、市民のためにこういう行政サービスしたいからと示してほしい」「自治体は教育めきには考えられない。合併後(学校などの統廃合)どうなるのか?」「国は銭もくれんと仕事は自分たち(市)でやれとは腹の立つ」「他の町村と一緒にしても大変。お互い切り詰めていくのが目に見える」「効率上げるのはいいが、今まで箱物(建築物)作ってそのついでをわしら一にまわすな」「離島政策感謝するが、合併後これまでの細かい行政サービス保証できるのか?」「昭和の合併は、子供たちのために学校を建ててほしいという願いと一致していた。今度の合併わしらに何のメリットがあるんなー」等の声

あしあと

4島を訪問

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1/28 真鍋島 | 1/30 飛島 | 2/12 北木島 |
| 2/14 白石島 | 3/2 飛島 | 3/27 飛島 |

のどかな瀬戸内の島の風情は心を和ませ、落ち着かせてくれる。船から降り立つた時に実感。飛島では、中学校閉校のニュースに「せめて休校に」という要望が強い。27日の閉校式では、卒業生代表山下まさとしさんが、「時代の流れとは言いながら、余りにも無念で口惜しい。いつまでも存続を信じていた」と悲しい惜別の思いを述べた。その思いに充分応えられなかった申し訳なさや共感から涙を禁じ得なかった。

それでも式後ご挨拶すると、関係者の方がたから、「いろいろお世話になりました」と言っただき、うれしかった。

2/15 保育所の公設民営化反対、私立保育園へ助成増額を求める街頭での署名活動を応援

3/4 生江浜・岬線工事地元説明会参加説明後の質疑で出された側溝のふたがけ等の問題点について、対策再考をお願いした。

3/8-9 高知での私学父母塾学習交流会に参加し、子育ての悩みや取り組みを交流。

ありがとうございました

- 大潮時に海水のあふれる沈下道路面のかさ上げ。(生江浜)
- 「あいず君」の設置と表示一呼び出しが聞こえない患者さんのために、複数の常備と案内表示、広報を要請(市民病院)
- 街灯の修繕(大井交差点)
- 排水弁の破損、グレーチング修繕
- 不法投棄物処理(新川)(笠岡学園前)

関係者のみなさん
お世話になりました。



夫からの一言 ~樋之津周明(山陽高校教諭)
妻がお世話になっています。皆さんの励ましを受けて3年が過ぎました。これからもご指導よろしくお願いします。